

アドミッション部門活動報告

本部門では、定期的に会議を行い、第1に学生の受入れに関して、①大学入試センター試験の傾斜配点等の研究、②平成18年度入試の募集人員の配分の検討・公表、③推薦・AO入試を含む受け入れ方策の調査・研究などについて検討を重ねました。平成17年3月に、以上の調査・研究結果をアドミッション部門報告「AO入試を含む入学者受入れ方策について」として取りまとめ、中期計画及び年度計画に基づいて5月に入学試験委員会及び入学者選抜方法研究小委員会に提案しました。このほか、AO入試に関する具体的な提案、得点調整のあり方について、特別協力教員の設置について、個別入試問題の大学間利用の問題についてなどの諮問に対して、臨時に部門会議やWGを開催して検討し、その都度関係委員会委員長に報告書を提出して答申しました。なお、年度末には、国立5大学のAO入試の現状と課題を調査し、報告しました。

また、入学者の学力低下問題とその対応策について調査・研究し、その結果を「学力低下問題への対応—導入教育の視点から—」として、国立大学入学者選抜研究連絡協議会第26回大会研究会において発表しました。また、その内容は論文にまとめ、「大学入試研究ジャーナル第16号」（2006年3月発行）に掲載されることとなりました。

さらに、多様な学力の入学者に対してきめ細かい教育を行うため、「入学事前学習支援プログラム」を平成16年度に推薦入学。合格者29名を対象に試行実施しましたが、平成17年度は推薦入学。及び「の合格者のべ117名を対象として、数学・物理・化学・日本語の4科目について本学独自の教材を新たに開発し、平成17年12月から本格実施しました。また、全学生、教職員を対象としてeラーニングによる英語自主学习教材、アルクネットアカデミースタンダードコースを導入し、新たに平成18年度から使用できる運びとなりました。

第2に入試広報に関して、①平成18・19年度2年間の新たな工学教育部高校生体験教室高大連携の調印・協定の推進及び広報、②高校や塾・予備校等への個別訪問、③高校での大学別説明会への参加、④高校での進路講演会の実施、⑤イベント会場での大学別説明会への参加、⑥各地の塾・予備校での本学入試ガイダンスとPRなど、積極的に広報活動を展開しました。また、広報・社会貢献委員会と連携し、紙媒体・電子媒体・イベントに分け

て統一的な広報戦略を企画し、大学案内・入試広報ガイド・キャンスマップの年度内作成やWebによる広域広報を実現しました。また、平成17年度から新たに学生・院生ガイドによるキャンパスツアーを実現し、両キャンパス合わせてのべ700名余の参加者に本学の中味を紹介することができました。